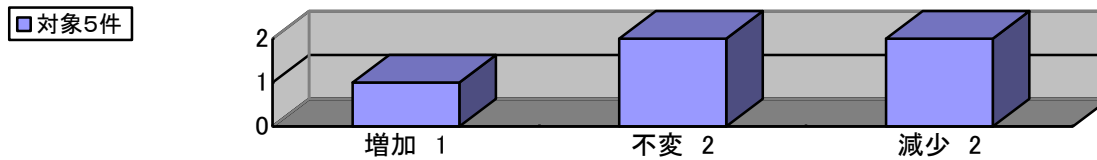


《経済動向調査》

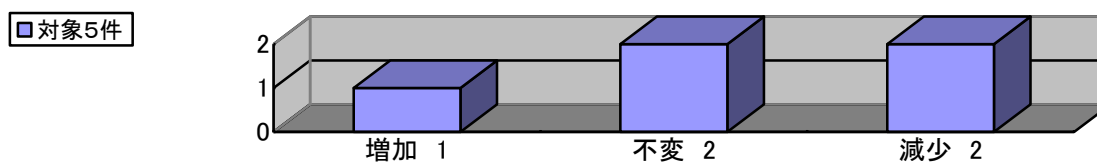
2019年10～12月期：2019年11月実施

【建設業】

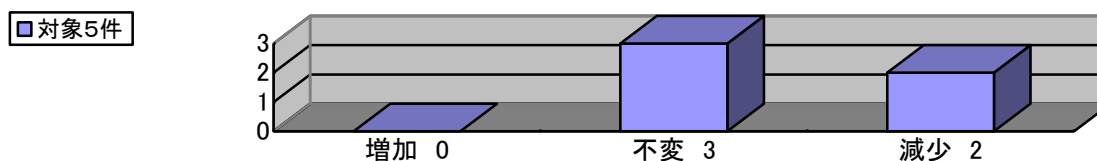
1-① 完成工事（請負工事）額：前年同期（2018年10～12月）に比べて



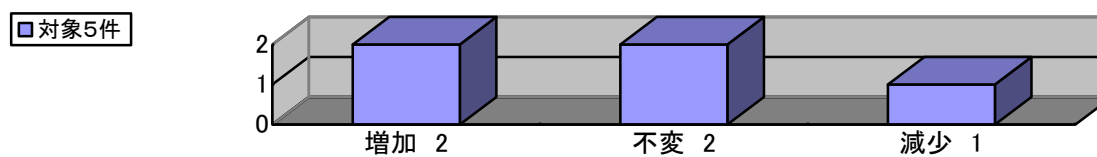
1-② 完成工事（請負工事）額：前期（2019年7～9月）に比べて



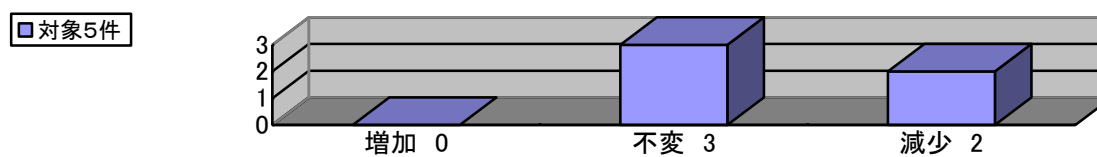
1-③ 完成工事（請負工事）額：前年同期（2019年1～3月）と比べた来期の見通し



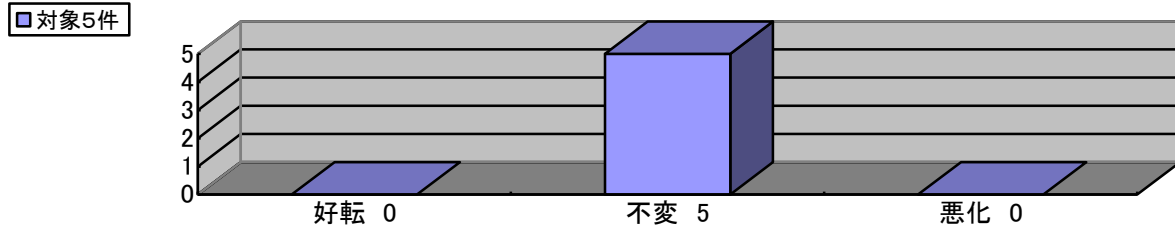
2-① 受注（新規契約工事）額：前年同期（2018年10～12月）に比べて



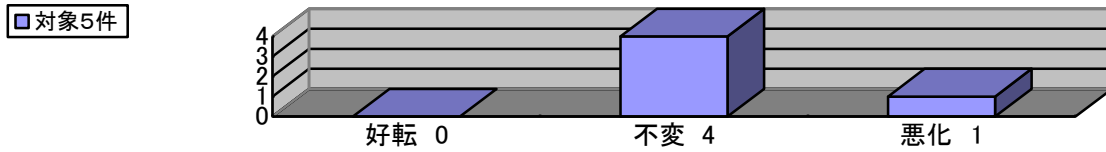
2-③ 受注（新規契約工事）額：前年同期（2019年1～3月）と比べた来期の見通し



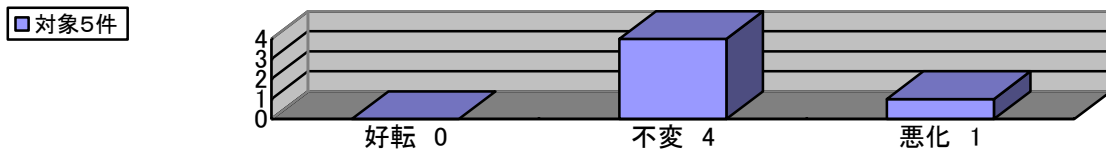
3-① 資金繰り：前年同期（2018年10～12月）に比べて



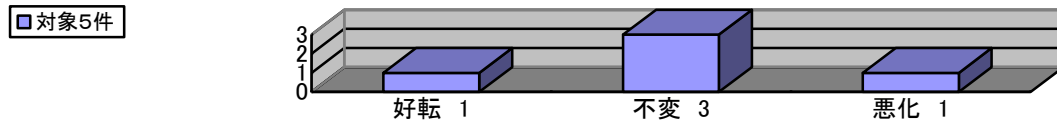
3-② 資金繰り：前期（2019年7～9月）に比べて



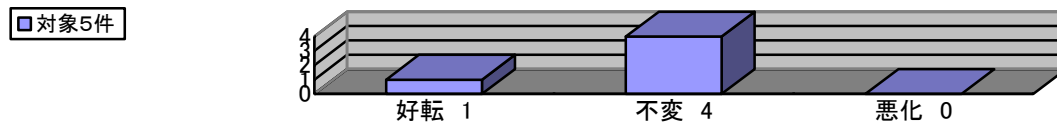
3-③ 資金繰り：前年同期（2019年1～3月）と比べて来期の見通し



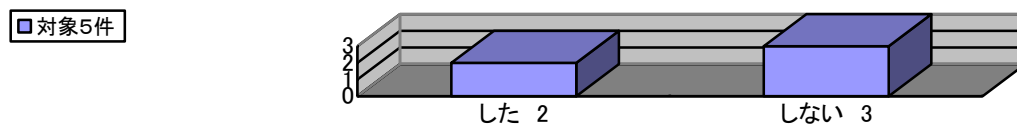
4-① 採算（経常利益）：前年同期（2018年10～12月）に比べて



4-③ 採算（経常利益）：前年同期（2019年1～3月）と比べて来期の見通し



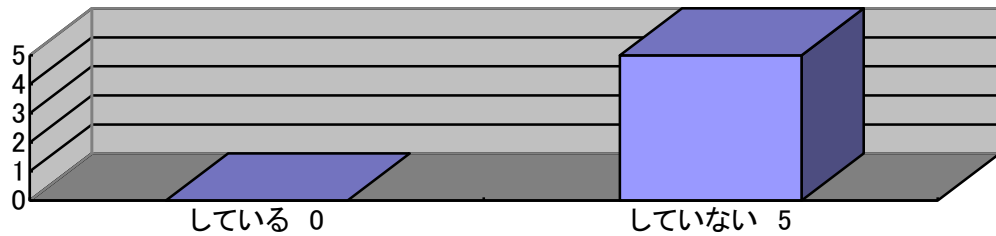
5-① 今期（2019年10～12月期）設備投資を実施しましたか？



- ※ 実施内容
- ・建物
 - ・OA機器

5-② 来期（2020年1～3月期）設備投資を計画していますか？

■対象5件



6 今期直面している経営上の問題点は何ですか？

- ・官公需要の停滞
- ・材料価格の上昇
- ・材料の入手難
- ・民間需要の停滞
- ・従業員の確保難
- ・下請業者の確保難
- ・人件費の増加

7 貴社が感じていることは？

- ・人件費の増加が悩ましいです（最低賃金の値上げに伴う）。従業員の平均年齢がかなり上昇し、今後の人材難対策に悩んでいる。
- ・今期も前期同様、大型物件の受注があり、業況は不変である。